

タイトル: miRNA定量 例3

カテゴリ: miRNA, RNAi 関連

キーワード: miRNA, RNAi

データソース: BIO VIEW / Clontech April 2009

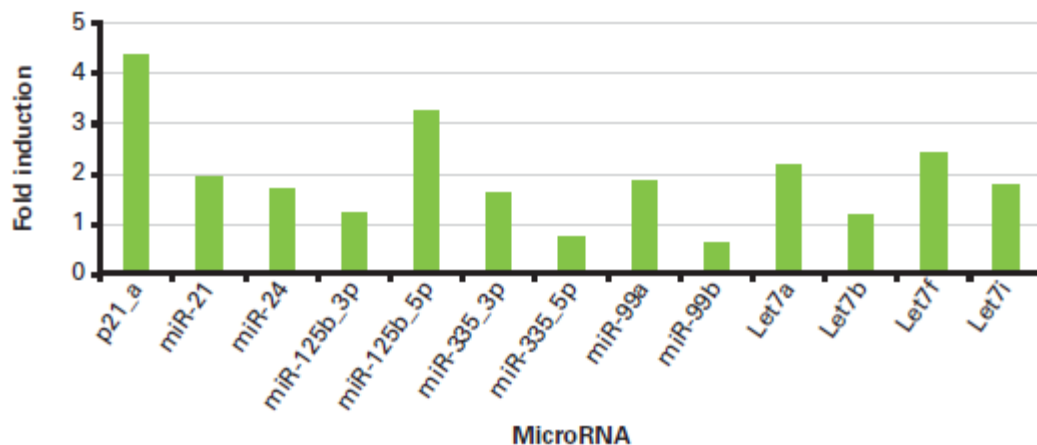
方法:

ヒストン脱アセチル化阻害剤であるtrichostatin A (TSA) 処理によるmiRNA発現量の変化を、マウスES細胞において12種のターゲットでモニターした。

- 1) マウスES細胞を培養する。培養前もしくは培養後にTSA処理を18時間行った。
- 2) 細胞からRNAを抽出を行った。
- 3) 抽出したRNAと、12種類のmiRNAに特異的なプライマーを使用し、Mir-X miRNA qRT-PCR SYBR Kit ([製品コード 638314](#)) を用いて定量を行う。なお、コントロールとしては、TSAで誘導されることが知られている「P21」mRNAを使用した。

結果:

マウスES細胞において、TSA処理によってmiRNAの発現が変化することをモニターできた。



備考: